

使用料等の見直しに係る分析結果（平成22年度決算）

施設の設置目的や運営状況等から、3つのカテゴリーに分類

公費・受益者負担を1/2ずつ 今回の改定率

使用料実績（F）と維持管理コスト（C）の比較

【カテゴリー別の分析結果】

光熱水費や清掃料や設備の保守委託等

施設貸出に必要な人件費

全ての貸出時間帯で利用された場合に見込める使用料

（単位：千円、倍）

カテゴリー	維持管理コスト		最大徴収使用料 D	乖離率		改定率	
	物件費等 A	人件費 B		従来分析 (物件費等のみ) A/D	維持管理コスト E = C/D		
文化センター系	654,131	200,668	854,799	574,929	1.14	1.49	1.2
スポーツ施設系	1,024,996	196,317	1,221,313	791,852	1.29	1.54	1.2
区民館系	23,947	26,937	50,884	39,619	0.60	1.28	1.1
《参考》対象施設合計	1,817,342	540,748	2,358,090	1,535,656	1.18	1.54	

（参考）使用料実績分析

使用料実績 F	維持管理コストとの乖離 G = C/F
303,832	2.81
357,686	3.41
11,998	4.24
701,814	3.36

区民館系は、区民館を基準施設として分析しているため、合計と一致しない

少数第2位は切り捨て

貸出施設の維持管理に必要な全てのコスト

物件費等（A）と最大徴収使用料（D）との乖離率

維持管理コスト（C）と最大徴収使用料（D）との乖離率

区民館の他に、青少年センターや福祉会館・児童館等

